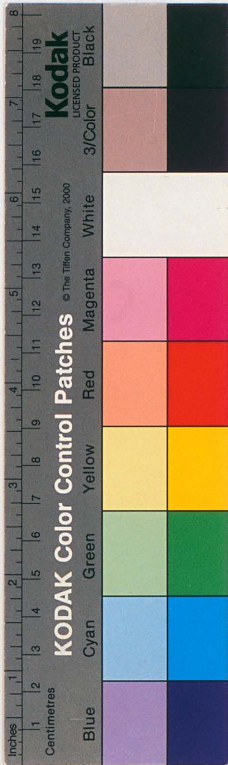


裏南洋開拓  
南洋興發株式會社の現況

611.24  
UR



1/10

南洋興業株式會社の發賣

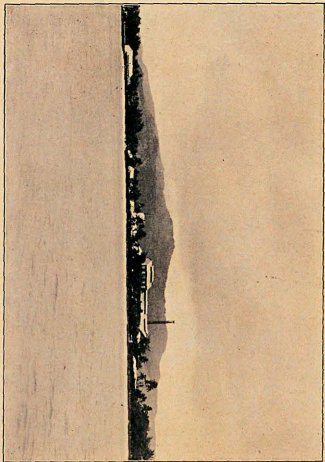
裏南洋開拓と  
南洋興發株式會社の現況

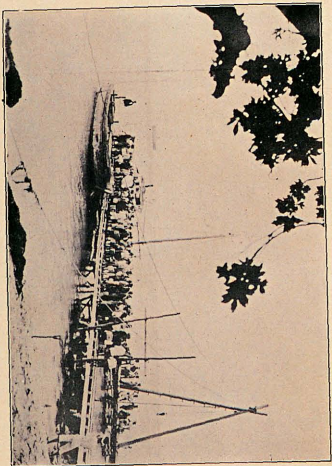
砂撈越





望遠ノ所 船艇ノパイナ

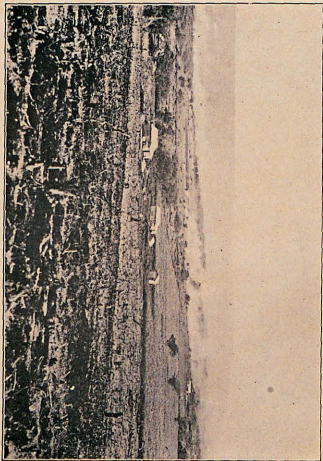




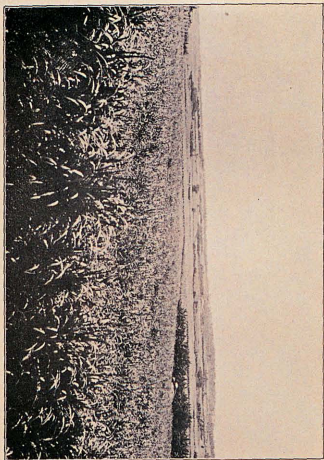
景光ノ圖上民橋棧観ゾアエテ



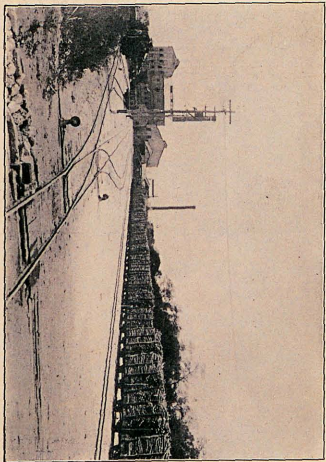
茶光ノ掛懸橋 攝國園監ト宅田人作小橋ノアズニシテ



第一ノ岡田畑第一第所栽培シバイナ

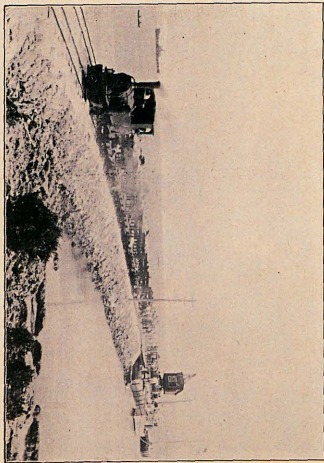




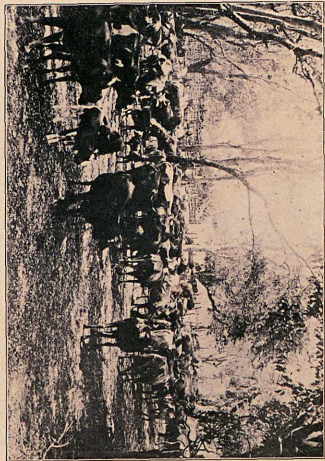


子マレー工場内照運搬機ノ光景

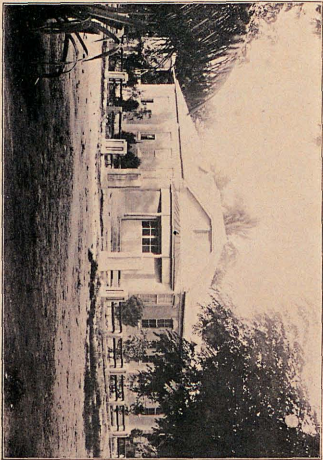
景光ノ出帆港砂橋棧ソフマナ



地牧ロニーテ所集養ンアニチ







石垣島臨時所船塢ノバヤナ

裏南洋開拓と南洋興發株式會社の現況

目次

- 一、會社成立の經緯
- 二、資本と株式
- 三、事業地
- 四、事業の種類
- 五、事業概況
- 六、社會的施設
- 七、事業の將來
- 八、本群島の產物と内地との經濟關係
- 九、重役及幹部社員

次、軍需品供給委員

八、水産品と海産品調査委員

九、事業の調査

六、地會の調査

五、事業の調査

四、事業の調査

三、事業の調査

二、資本の調査

一、合資設立の調査

目次

東南洋開拓と南洋興發株式會社の現況

一、南洋開拓と南洋興發株式會社の現況

一、會社成立の経緯

大正三年世界大戦勃發するや、我國は聯合帝國として參戰し、我海軍は獨逸東洋艦隊を驅うて東南洋群島を占領し、之に軍政を布けり。當時恰も内地財界は頗る好潮時代に在りしを以て、企業家にして此の新占領地に渡航し、各種の事業を計畫し、或は其實行に着手するもの甚だ多く、其等の内當社の成立は關係あるものは、西村拓殖株式會社及南洋殖産株式會社にして、兩社は何れもサイパン島に於て製糖又は棉花栽培を目論見たるものなり。

而して兩社共第一着に製糖事業に手を染め、先づ其蔗作に必要な移住者を内地より招致し、諸般の設備を整へて事業を開始したれども、遺憾ながら成功を見るに至らざりき。其の原因として數へらるゝは第一舊式の赤糖工場なりしため生産費大なりし



こと。第二其の製品は外國領土の產品として内地に於て關稅を賦課せられたること。第三初めより資金難に苦み意の如く活動出來ざりしこと等にして、萬里の波濤を超えて努力せし事業も意氣昂らず、加之彼の大正九年に於ける財界の恐慌に遭遇して以來は兩社の金融全く梗塞し、爲めに事業も殆ど休止の状態となり、次いで全く拋棄の止むなきに立到りたり。其の間偶々原料政策に苦みつゝありし臺灣糖業界の雄、大日本東洋、明治、鹽水港の諸會社は好況に乗じ、事業の發展を計る可く南洋諸島に社員を派し調査を重ねたるも、右西村拓殖、南洋殖産同様の事情と更に島嶼小にして大組職工場建設の不利にして且事業開始するも労働者の需給其の他の關係より、農場鐵道方面に不利多くして經營困難なるべしとの事由により何れも考慮中なりし折柄、糖價暴落、財界の不況は益々惡化し、金融梗塞其の極に達し、臺灣諸會社も最早や各々其の本城を死守するに急にして、他を顧るの餘裕なきに至り、斯くして千名に近きサイパン島の移住者は其の日の食糧にさへ窮迫し、一滴の醬油さへ無く、海水を以て之に

充つるの慘狀を呈するに至れり。加ふるに島民の主食物たる椰子は、具殼虫の被害を蒙り殆ど全滅となり、生活資源は全く杜絶し、窮況見るに忍びず全く前途暗憊たるに至り西村拓殖並に南洋殖産兩社の事業が速かに復活するか、然らざれば新事業を興すにあらざれば住民全體は生活の危機に陥ること、なれり。

兩社は局面の展開を計るを急務として各方面に奔走せり。然れ共財界不況の底に陥りたる際とて、二百三十萬圓の負債を負へる兩會社を繼承するものなく、徒に日を經るに過ぎず、茲に於て南洋廳は統治上より見て之が救済策として唯單に移民を歸還せしむるは妥當ならずとし、中央當局に斡旋し、遂に東洋拓殖株式會社之が積極的救済に當ること、なりたり。

初め東洋拓殖に於ては、是が救済たるや多大の犠牲を拂ふの覺悟を要し、事業の着手には尙相當時機を計るを策の得たるものとの見解を有せしも、前述の如く事態は頗る切迫し、事全島民の安危に關するのみならず、惹いては委任統治の成績にも係り、

此時機を逸せんか由々しき社會問題を誘起せしむる虞あり、更に統治の根底に觸る、事應なしとせざるものあるを以て、同社は南洋廳の存意を諒とし、犠牲を忍び直ちに事業着手を敢行するに至れり。此時恰も移住者は其食糧缺乏の極に達し將に飢餓に瀕せんとする状態なりしを以て、同社は不取敢食糧米の供給を爲すと同時に、一面社員を派して實地調査を行はしめたり。

一 調査の結果成案を得、茲に南洋廳の特別援助の下に西村拓殖及南洋殖産兩社の權利を繼承し主として東洋拓殖の投資により南洋興發株式會社は成立する事となれり。

## 一、資本と株式

●資本。西村拓殖は當初公稱資本金五百萬圓内拂込高百五十萬圓を以て創立せしが、大正十一年一月東洋拓殖の救済に當り、資本金五十萬圓全額拂込に減資せる上南洋興發株式會社と改稱し、同時に南洋殖産の事業一切を金五十萬圓を以て買收繼承の上、

資本金三百萬圓に増資し、全額拂込とせり。而して右三百萬圓六萬株の内東洋拓殖引受の四萬四千株は新規投資に係るものなるも、他の二萬六千株は西村拓殖及南洋殖産より繼承せる權利及施設に充用せられたるものにして前者を甲種株、後者を乙種株とし乙種株に對しては當會社が積立金四十萬圓に達し且新規投資に依る甲種株四萬四千株に對し、一割二分以上の配當を爲し、尙剩餘ありたる場合に於て配當を爲すの制限を附したるも、昭和三年三月此乙種株の整理をなし、他の株式と同一内容の株式八千株を發行したる爲、資本金二百六十萬圓全額拂込となりたり。

●之より先東洋拓殖の投資に依る會社の誕生に際しては其新規投資額四萬四千株、二百二十萬圓の内より、南洋殖産買収金の内現金を以て交附せる二十萬圓を差引き僅に二百萬圓の内より更に舊西村拓殖より引受けたる債務等を控除する時は殘餘幾何もなく、依て東洋拓殖より二百餘萬圓の長期借入をなし、之を以てナイバン島の事業に着手したるものなり。而して昭和三年テニアン島事業開始に當り、社内餘裕金を以て所







我社は南洋群島の經濟的開發並に南洋文化の建設を目標とするものにして、我社の營む所の事業は畢竟するに之が手段たるに外ならず。其等の内最も力を注ぎ又最も成功したるものは、製糖事業並に之が附帶事業たる酒精製造にして、我社は一口に製糖會社として通ずる模様あるも、若し之れがため前に掲げたる我社の大目標を没却せらるゝ事あらば、そは必ずしも我社の本意にはあらざるなり。

我社の營む主要なる事業を列擧すれば左の如し

- 一、拓殖移民
- 一、土地經營、甘蔗栽培其他の農業
- 一、製糖、酒精製造、製酒、製氷
- 一、鐵道運輸
- 一、牧畜、養豚
- 一、棉花栽培並綿棉
- 一、物品販賣

一、前記に附隨したる業務

## 五、事業概況

我帝國の領域中臺灣は亞熱帯に在り、赤道直下眞の熱帯圈内にあるものは本群島の外なく、従つて我國産業史上斯る熱帯地域にて行ひたる事業の例なく、我社の企劃し實現する所のは總て新事業新經驗なり。されば之が施設には悉く試験と實行とを同時に兼ね行ふを要し、加ふるに絶海の孤島にして交通に、通信に、頗る不便あるを以て、事業上豫期せざる諸般の障礙に逢着し、大なる辛酸之に伴ふを常とせり。たゞ業に従ふもの不撓不屈、只管國運の發展を庶幾し、努力を重ねたるを以て創業三年にして基礎確立し、今や成績大いに見るべきものあるに至れるは、誠に欣快に堪へざる所なり。

・移住者。島民の人口は至つて稀薄、且つ勞働能率低きを以て、此群島に於て事業を

○土産の買付  
○土産の買付  
○土産の買付

起さんとするには労働力の招致を第一要件とす。されば我社は直營事業として之が募  
集を行ふ。主なる募集地は沖繩、鹿兒島、福島、山形、八丈島の地方にして、心身共  
に健全なる者を厳選の上採用す。

移住者は一定の労働に従ふ現業員及人夫と、甘蔗栽培を經營する小作人とな分る。  
而して此等移住者に對しては、出身地よりの渡航費及支度料等一人に付百圓以内を貸  
付し、且小作人に對しては着島後更に農舎の建築、農具の購入其他耕作に要する資金  
を貸付し、又牛車其他の現物貸付をも爲す。人夫は宿舍を支給せらるゝ外一定の日給  
を受くるものにして、小作人は單身者三町歩、夫婦者五町歩の標準を以て耕地割當を  
受け獨立の計算に據るものなり。

小作人は現在サイパン島六四六戸(外に社外及島民蔗作人一五一戸)ニニアン島五  
三三戸あり。尙サイパン、テニアン兩島を併せ、移住者の出身地別數を示せば左の  
如し。

○移住者  
○移住者  
○移住者

從業員出身地別内譯表

(家族を含む) (昭和五年十二月末現在)

地方別	從業員	現業員	農場蔗作人	雜工 工場鐵道 補助人夫	計
沖繩地方	一八九	七二八	二、三七五	三、二九二	
小笠原 八丈地方	二〇	一五七	二〇	一九七	
關東地方	五	一五	四	一四	
關西地方	四	一	三	七	
中國地方	八	八	五	二一	
四國地方	四	二	三	九	
九州地方	四八	一〇五	一〇	二六三	
東北地方	二一	二二八	九二	三三一	
朝鮮	一六	六	一七	三九	
南洋(島民)	二	三六	二	四〇	
計	三二七	一、二六五	二、六三一	四、二一三	

○沖繩地方  
○沖繩地方  
○沖繩地方

○南洋(島民)  
○南洋(島民)  
○南洋(島民)



此等は家族を伴ふ者多數なるを以て、之に家族数を加ふるときは實に一萬二千有餘人を算するに至り、土着島民の約三倍強に相當す。

●耕地。サイパン島に於て西村拓殖及南洋殖産時代に開墾せしものは約九百町歩にして、其後千古斧鉞を加へざる密林を開墾したる面積は、サイパン島に於て現在約三千町歩、テニアン島に於て現在約三千二百町歩なり。此内移住者の野菜園其他約三百町歩を除き、他は全部蔗園にして適宜休閒地を設けて輪作制を實施せり。

●蔗園。此地方の氣候風土は甘蔗栽培に最も適し、我社は瓜哇種、臺灣種、布哇種等に就き數十種を栽培比較研究の結果、殊に此地方に適する優良品種二三を發見し栽培し居れり。此等の品種に更に改良を加ふる爲め、試験地を設けて不斷の試験研究を積みつゝあり。然れども事茲に達する迄には、害虫に對する天敵の輸入等を始め幾多の尊き犠牲を拂ひ努力を重ね來れるなり。

一 収量は其成績の良好なるものにおいては、無肥料にて町當十二萬斤以上に達するものあり。

●平均九萬五千斤内外にして、小作人は其平均二割を小作料として會社へ納入し、其他を會社へ賣渡すものにして、我社は此小作人及島民の生産したる甘蔗を買收するに於ては、年々買收價格を協定し、南洋廳の認可を得て決定し、専ら公正を期し、農家の保護を旨とし居れり。

●工場。サイパン島に於ける一ヶ年の甘蔗生産高約三億萬斤、之が運搬用鐵道五十餘哩、工場は獨逸製一千二百噸工場にして、大正十二年より製糖に着手し、初年は病虫害其他各種の支障に依り、歩留低かりしも次第に成績を上げ、現在は一ヶ年三十萬擔以上を生産し、製品の内地市場に於ける格位は臺灣一流會社の優良品と同位なり。多年の辛苦酬いられたりと謂ふべし。

昭和五年初頭完成したるテニアン島工場は、サイパン島工場と略同一能力のものにして、甘蔗運搬用鐵道は三十餘哩に達す。

一 斯くて兩工場よりの生産高を合するとき、年額六十萬擔以上の砂糖を生産する。

Handwritten notes in Japanese, including '三ヶ年' and '五ヶ年'.

Handwritten notes at the top of the page, including '平均九萬五千斤内外にして' and '小作人は其平均二割を小作料として'.



現在はサイパン島に四個の公立小學校あり、我社従業員の子弟四百五十餘名在學し、全員の八割を占む。テニアン島には公立小學校の完成に至る迄、我社の教育所を以て子弟の教育に充てつゝありしも、ソンソン校は既に官營となり、近く農場に二校増設の事となれり。尙生徒の通學には社有鐵道無賃乗車の便を與ふ。

・衛生。表南洋方面に於けるが如き悪性のマラリヤは絶無なるのみならず、所謂風土病と稱するものなく、唯降雨期に於ける脚氣と、平時多少の胃腸疾患あり、此原因は主として住宅、飲料水の不良、並に蔬菜缺乏に在るが故に、當社は完全なる住宅の設備をなし、水槽を作り、特に蔬菜の栽培を奨励せしため大いに罹病者を減じ、一般に健康の増進せし事を認むるに至れり。又我社は衛生用、醫療用とを兼ね、製氷工場を經營して内外に安價に製氷を供給しつゝあり。

サイパン島には設備の整ひたる官立病院あれども、特に我社は輕症又は外傷患者をして、炎天の下遠く此の官立病院に赴くの勞を省かしめ又急病者の場合に應ずるため

に、サイパン島並にテニアン島に醫務室を設け、醫師、藥劑師、産婆、看護婦を置き、藥品其他レントゲン等の醫療機具を備へ、従業員並に家族の治療を行ひ、或は往診をも爲し、偏に保健に意を注ぐと共に、他方勞働能率の向上に努め居れり。現在社醫四名を配置す。

・慰安。内地を離るゝこと千數百海里の海島なれば、慰安の乏しき事は誠に遺憾なれども、我社は屢々各部落に活動寫眞の巡回映寫を試み、或是一年數回慰安會を開き、餘興、響應又は懸賞競技等を催し、島の祭日として一日の愉樂を盡さしむ。又工場方面に對しては、野球、庭球、劍道、柔道、弓術等を奨励する等、體育並に品性の向上に資せんと努めつゝあり。又銃獵、魚釣り、網獵、海水浴等は年中隨時之を樂しむことを得。又ラジオ受信機を設けて、直接内地のニュース、音樂等を傳ふるの外、此のニュースを基としてラジオ新聞を發行し、種々の記事を掲げ移民を善導し居れり。



### 七、事業の將來

我社の經營は前述の如く三島の内ナイバン島並にテニアン島の一部に手を染めたるのみにして、前途尙頗る多望なるものあるなり。製糖の方面に在りてはナイバン、テニアン兩工場の外、ナイバン工場を擴張し、尙近き將來に於てテニアン島に更に一工場を建て、ロタ島にも工場を建つる豫定なり。尙製糖工場の新設擴張は、副産物たる糖蜜の増産を來し、従つて酒精事業の發展を伴ふ事は言を俟たざる所なり。

稲作の有望なることは、數年に亘る試作に依り確證を得たれども、摘花期に於ける勞力問題に悩み、未だ大規模の經營に着手するに至らざれども、今後移住者の人口も増加し、其婦女子を以て之に當らしむることを得るに至らば會社、移住者雙方の利益尠からざるべしと信ず。甘蔗は今後益々發展すべく、藍園に於ける間作物の研究にも力を注ぎ、以て

農家の福利を計り居れり。

我社は移住者の生活を安固にし、且兎もすれば索寞に陥り易き殖民地生活に潤ひあらしむべく絶えず努力を重ね來れるも、今後は益々此方面に種々の施設を講じ、移住者の福利増進に努むる覺悟なり。

### 八、本群島の産物と内地との經濟關係

・本群島の産物は、我海軍の占領以前に於て、既に獨逸系の商會に依り多少我國に輸入せられたるも、其額は未だ九十萬圓に達せず、頗る微々たるものにして、其主なるものを掲ぐれば

品名	年額約	價格
コブラ	六、〇〇〇噸	八十萬圓
海參	同	一萬圓
高瀬貝	同	五萬圓
	一〇〇噸	

計

八十六萬圓

にして極めて振はず、而も此等の産物は外國貿易品として國內の正貨を海外に送り出したるものなり。然るを委任統治となるに及び、南洋廳の設置以來は、轉じて總て邦人商會により之を取扱ふこととなり、正貨の流出を阻止したるのみならず、今日迄經濟の利用價值大いに疑問視せられ居りたる本群島中より、我社が拓殖製糖の事業に成功して以來、各種事業の興起を促し、年額千五百萬圓内外の産物を内地に移出するに至り、而も我社の發展に連れ、將來益々増加せんとするの趨勢にあり。即ち

農産、林産、水産物

二十萬圓

コ ン ラ

二百萬圓

燐 礦 (南洋廳直營)

百三十萬圓

砂 糖

千八十萬圓

酒 精

五十萬圓

計

千四百八十萬圓

刻下我國は急激なる人口増加に苦み、生活難は彌々峻烈味を加へ、思想は益々悪化し、過剰人口の調節を計らざるべからざる秋に當り、我社は既に現狀に於ても一萬數千人の移民を收容し、更に將來豫定事業の進展に伴ひ、二三萬人の新移住者を植うる事を得るは、正に過剰人口調節上喜ぶべき事なりと信するなり。

尙南洋廳は管内糖業に力を致され、我社は既に現在に於ても年額三百萬圓内外の砂糖出港税を納むる迄に至りたるも、近き將來に於ては其額四百萬圓以上にも達すべく斯くて我社の經營する處、微力乍ら我經濟界に貢獻なしとせざるは、欣快に耐へざる處なり。

臺灣の食糧及労働力問題の概観

臺灣の食糧及労働力問題の概観

臺灣の食糧及労働力問題の概観

臺灣の食糧及労働力問題の概観

大 臺灣の食糧及労働力問題の概観

## 九、重役及幹部社員

我社の重役並に幹部社員左の如し

取締役社長	松江春次
常務取締役	村田命穆
取締役	齋藤龜三郎
監査役(常勤)	中村虎猪
同	池邊龍一
嘱託	色部米作
本社事務部長	藤田達一
サイパン製糖所長	志波喜六
テニアン製糖所長	松井英夫

三四

東京事務所

水野恒路  
布施保次

本社  
東京事務所

南洋廳下サイパン島チャランカノア  
東京市麴町區内山下町一ノ一東洋ビルディング内

電話銀座 (57) 電06・電09・電10





